

今こそ  
若い力で  
新しい習志野。

# Report

関根ひろゆき

No. 28

平成31年度  
第一回定例会市政報告



## ご挨拶

謹啓 日頃より私の政治活動に際し、絶大なるご指導、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

この度の定例会においての一般質問では、3つの質問を致しました。

一つ目は習志野市の働き方改革について。

二つ目は学校施設再生計画について。

三つ目は在住外国人対応について。

習志野市における働き方改革の推進、学校施設再生計画の推進、今後も増加をしていく在住外国人対応についての取組みの強化を要望いたしました。

是非、お目通しの上、ご意見、ご要望をお待ちしております。

謹白

平成31年3月吉日

習志野市議会議員 関根洋幸

## 習志野市の働き方改革について

Q: 習志野市の働き方改革への取組みについて伺う。

A: 平成31年4月より「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」を段階的に施行し、時間外勤務の縮減と長時間労働の是正に努める。

要望: 習志野市の職員一人当たりの残業平均時間は月に18.1時間であり、総務省調査結果の平均よりも多い。

第三次定員適正化計画の推進と、AI・RPAの積極的な導入により働き方改革の実現を要望するとともに、浮いた時間を職員にしか出来ないクリエイティブな仕事や市民とのコミュニケーションの充実にあてていただきたい。

## 学校施設再生計画について

Q:市内の児童数の最大校と最小校について伺う。

A:今年度における最大校は、谷津小学校で1074人。最小は袖ヶ浦西小学校の202人。

Q:この現状を鑑み、学区の変更や市としての適正規模・適正配置を策定しないのか。

A:全市的な学区の変更は検討していないが、適正規模・適正配置については、慎重に検討をしていく。

**要望:**狭い習志野の中であって、すでに最大と最小で5倍の差が生じている。子ども達の教育環境や公平な競争の観点から早急に是正する必要がある。対策の研究を要望。

## 小規模特認校について

小規模特認校とは、市内全域から通う事が出来る学校であり、学区の縛りはありません。

習志野市では現在袖ヶ浦西小、向山小、秋津小の3校が小規模特認校となっております。

しかし、この制度を利用して学区外から通う児童は少なく、年度によっては0人の時もあります。

小学校の児童数を平準化し適正規模にするためには、抜本的な改革が必要になります。

一刻も早く対策をするように教育委員会には強く要望していきます。

## 在住外国人対応について

Q:習志野市の外国人対応について伺う。

A:行政資料の多言語化や習志野市国際交流協会において様々な生活支援を行っており、住みやすさの向上に努めている。

**要望:**外国人は大人はもとより、母国語を日本語としない児童も増加をしており、今後益々増加の一途を辿っていく。

現状でも言語ボランティア等の人員不足が懸念されている。

また、災害時には災害弱者となってしまう外国人に対しての対策が十分ではない。

他市では災害時外国人支援サポーター制度なども導入しており、積極的な支援を行っている。

習志野市としても、多文化共生社会の実現に向けて一層の研究と対策を。

## 習志野市の外国人数

平成30年12月末現在で4052人の外国人が習志野市に住んでおります。

中国国籍 1341人

ベトナム国籍 601人

フィリピン国籍 425人

韓国国籍 403人



他61か国の外国人が在住している他、外国人児童数も93人となっており、今後益々の増加が見込まれております。

# 活動報告 Report



谷津コミュニティセンターでの市政報告会



JR津田沼駅にて  
佐藤健二郎氏と朝の駅頭活動

## PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒業

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年習志野市議会議員選挙当選(二期目)

ホームページ

<http://sekine-hiroyuki.jp>

発行:関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & ㉨:047-779-4092



討議資料